

健康・福祉・医療分野

健康・福祉・
医療分野

市民生活
分野

VI

3 生涯にわたる健康づくり

こころと身体 の健康づくり

現状と課題

生活習慣の変化や高齢者の増加等によって生活習慣病の有病者やうつ病、ストレス性疾患予備軍が増加しています。生活習慣病の予防は、生活の質を維持することはもちろん、健康寿命の延伸や介護予防・医療費の適正化等の点からも急務です。一方、

健康教育や健康相談事業の参加数は年々増加し、市民の健康に対する関心の高さがうかがわれることから、保健師等が事業所や主治医と連携を図りながら、肥満予防や運動習慣の徹底、栄養や禁煙等の生活習慣改善を進める必要があります。



健康度評価事業



健診の様子



壮年期健康づくり教室

健康づくりフェアでの体力測定

基本方針

健康寿命の延伸をめざして健康診査の受診や保健指導の充実、運動習慣の普及を図るとともに、生活習慣病の予防や生きがい、

癒し等の身体的・精神的機能の向上のために、正しい知識の普及をめざします。

事業計画（主な事業とその内容）

〔生活習慣病対策の推進〕

生活習慣病の予防に向けて、保健師や栄養士等による健康教育や健康相談、生活習慣改善指導等を充実するとともに、健康度評価票を活用した健康づくりの動機づけ等生活習慣病予防の啓発を進めます。

〔健康診査の奨励〕

日頃から自分自身の健康状態に関心を持ってもらい、自らの健康管理を行ってもらうとともに、疾病の早期発見・早期治療を図るため、すこやか検診や集団検診の定期的な受診を奨励していきます。

〔こころの健康づくり〕

増加する自殺者の背景にあるうつ病への対策として、うつ病の早期支援、周囲の人々の理解やサポート力の向上、うつ病に対する支援体制づくりを推進します。

〔子どものスポーツ活動による体力増進〕

子どもたちが、自分たちに適したスポーツに親しめるよう、幼児期から運動機会を提供するとともに、子どものスポーツを支える地域への支援、少年スポーツリーダーの育成、さらにはスポーツ障害から子どもを守る運動を展開します。

〔体力測定の推進〕

市民の健康度を測る体力測定診断システムを整備し、スポーツ活動の推進を図るとともに今後のスポーツ施策展開を把握、評価するデータベースへの活用を図ります。

市民参加と協働

- ・地域の公民館や運動普及推進員による自主的な健康づくりの推進

健康・福祉・医療分野

健康・福祉・
医療分野

市民生活
分野

VI

3 生涯にわたる健康づくり

医療・高齢者福祉施設の整備・充実

現状と課題

金沢市では、金沢健康プラザ大手町や金沢福祉用具情報プラザ等の医療・高齢者福祉施設等の整備を進めてきましたが、団塊の世代の高齢化に伴ってこれらの需要の急増が予想されています。そこで、介護予防や健康増進を進めるための施設の整備・充実を図るとともに、需要動向を見極めながら介護を必要とする高齢者等へのサービスを提供するための施設整備を進める必要があります。



金沢健康プラザ大手町



金沢福祉用具情報プラザ（ルキーナ金沢）

基本方針

高齢者の増加や医療・福祉の需要動向を見極めながら、高齢者の健康維持や介護サービス等を支援するための施設整備・充実を図ります。

事業計画（主な事業とその内容）

〔広域型福祉施設の整備〕

特別養護老人ホームの個室・ユニットケアをはじめ、広域型福祉施設について生活の場にふさわしい生活環境の改善・向上を図ります。

〔地域密着型福祉施設の整備〕

住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域に密着した小規模多機能型居宅介護施設[※]をはじめ、認知症の方を対象としたグループホーム[※]等を日常生活圏域ごとに整備します。

〔金沢健康プラザ大手町の運営〕

市民一人ひとりが健やかに快適な生活を営むための環境づくりの場として、健康相談、健康講座を開催するとともに、主に中高年齢者を対象とした健康づくり、筋力トレーニング教室等による体力づくりを推進します。

〔福祉・医療の連携の推進〕

多様な医療・福祉サービスを提供するため、高度医療機関や民間医療機関間のネットワーク化、医療機関と老人福祉施設等との連携を推進します。

〔松ヶ枝福祉館及び金沢福祉用具情報プラザの活用〕

松ヶ枝福祉館での専門相談員による福祉の総合相談の充実を図るとともに、金沢福祉用具情報プラザでの展示内容の充実や学習、専門相談等の推進を図ります。

市民参加と協働

- ・地域の自主企画による健康事業の推進
- ・健康ボランティア（運動普及推進員）による地域での福祉活動

[※]小規模多機能型居宅介護施設「通所」を中心に、利用者の態様や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを提供する施設。
[※]認知症高齢者グループホーム 認知症の高齢者が少人数（5～9人）を単位とした小規模な生活の場で、食事の支度、掃除、洗濯などをスタッフと共同で行い、家庭的で落ち着いた雰囲気の中で生活する施設。

健康・福祉・医療分野

健康・福祉・
医療分野

市民生活
分野

VI

3 生涯にわたる健康づくり

市立病院の機能拡充

現状と課題

近年の医療需要は、医療の質の向上に対する市民ニーズの高まり、高齢者の増加、がんや心疾患、脳血管疾患、生活習慣病等の疾病構造の変化により複雑多様化する傾向にあります。さらに、自治体病院である市立病院は、石川中央医療圏唯一の結核・感染症等の社会防衛医療の機能を保持して

いることに加え、民間病院では難しい高度・救急・災害医療等を担う役割があります。これからは、地域における病院の役割をよりいっそう明確にするとともに、医療と福祉の連携が取れたサービスの推進が必要となっています。



高度医療機器による検査風景



災害トリアージ訓練

基本方針

市立病院は、地域中核病院として二次医療の担当、民間病院や診療所との連携強化・機能分担、効率的な病院経営を行うとともに、金沢市内における医療需要の変化

と医療機関の配置、機能等を鑑みて不十分な医療分野等にも重点を置き、量的にも質的にもカバーできる病院をめざします。

事業計画（主な事業とその内容）

〔地域中核病院としての機能充実〕

質の高い医療を市民に提供する地域中核病院として、急性期の患者に対する診療を積極的に行います。また、他の医療機関では対応しにくい疾病治療に対処するとともに、地震等の災害時に備えた地域災害拠点病院としての機能充実を図るため、トリアージ^{*}の訓練等を実施します。

〔地域の病院や診療所との連携強化と機能分担〕

民間病院や診療所等の医療機関との有機的な連携のもとに、保健医療に関する技術・情報の交換、施設の共同利用、相互協力等を積極的に進めます。そのために登録医制度を導入し、かかりつけ医を推奨するなど、地域連携室の活動の充実を図ります。

〔高度医療の推進〕

高度医療機器であるCT、MRI等を更新し、機器の性能をレベルアップすることで、患者の待ち時間の減少及びより詳細な検査の実施など、医療の質の向上に努めます。

〔救急医療の充実〕

市民の救急医療機能として、市内における病院群輪番制の病院としてのみでなく、市民に最も身近な病院としていつでも利用できるようにその機能を拡充整備します。

〔予防医療の推進〕

民間医療機関との役割分担を図りながら、健康維持のための予防医療として人間ドックや健康相談等の活動を推進するとともに、必要な施設整備を行います。

市民参加と協働

- ・市民による病院ボランティア活動の推進
- ・地域住民参加によるトリアージ訓練の実施

^{*}トリアージ
大規模な事故や災害等で多数の負傷者が発生した場合に、重症度と緊急度で救命・治療の優先順序を決める方法。